# 利用マニュアル

## 操作編（一般ユーザ）［Teams連携］

このたびはStandOne ストレージをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

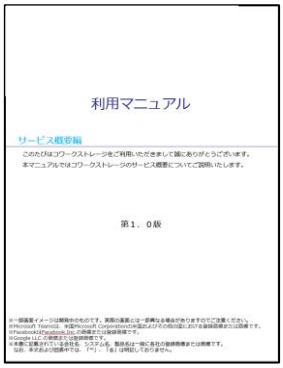
本書ではTeamsアプリとの連携方法を説明します。

第６．０版

※一部画面イメージは開発中のものです。実際の画面とは一部異なる場合がありますのでご注意ください。
※本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。
※Microsoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

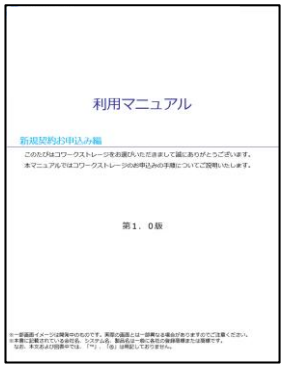
# 利用マニュアルについて

## ①：サービス概要



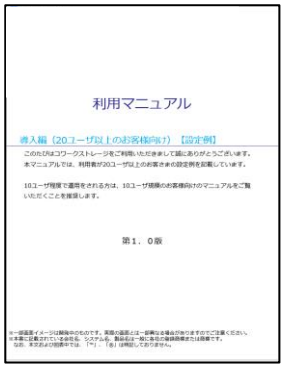

本サービスの
サービスの概要や特長を説明

## ②：新規契約お申込み編



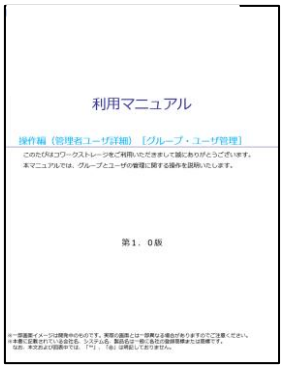

本サービスの
新規お申込み方法を説明

## ③：導入編【設定例】



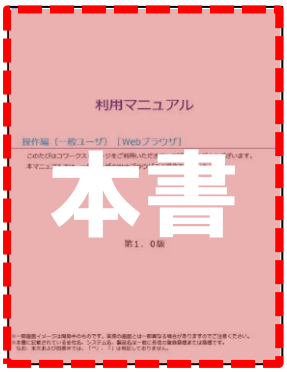

本サービスの初期設定を設定例
から説明

## ④：操作編
## （管理者ユーザ詳細）



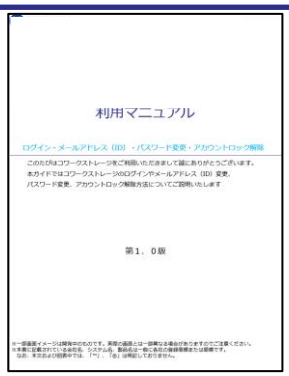

管理者権限を持つ利用者様向け
の操作説明

## ⑤：操作編
## （一般ユーザ詳細）



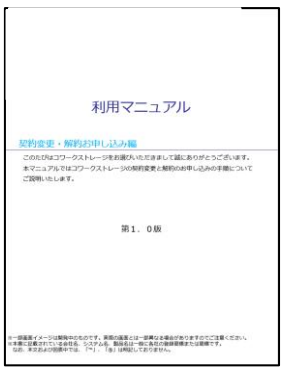

ユーザ向けの操作説明

## ⑥：ログイン・メールアドレス、パスワード変更、アカウントロック解除編



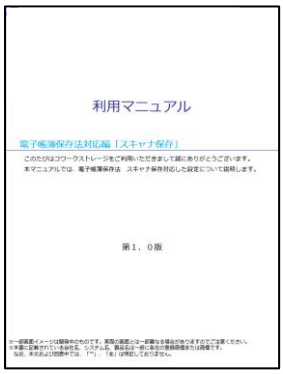

本サービスへのログイン、メール
アドレス・パスワード変更、
アカウントロック解除の操作説
明

## ⑦：契約変更･解約申込編




ご契約情報確認方法や
変更について説明

## ⑧：電子帳簿保存法対応編




電子帳簿保存法に対応するため
の設定・操作方法を説明

# 改版履歴

| 版 | 年月 | 改訂内容 | 改訂箇所 |
|---|---|---|---|
| 1.0版 | 2021年4月 | 初版作成 | |
| 1.1版 | 2021年4月 | Teamsデスクトップアプリで利用可能となったため、注釈の内容を変更しました。 | 1 |
| 3.0版 | 2021年9月 | Teams連携機能が回線認証・SNS認証に未対応であることを追記しました。 | 1 |
| 6.0版 | 2022年11月 | 「利用マニュアルについて」に「⑧：電子帳簿保存法対応編」を追記しました。 | - |
| | | ログインの方法追加に伴い、記載を更新しました。 | 1 |

# 目次

１．Teams連携アプリのダウンロード ・・・・・・・・・・・・・ 4
２．テナントIDの登録 ・・・・・・・・・・・・・ 6
３．Teams連携アプリをアップロード ・・・・・・・・・・・・・ 8
４．Teams連携アプリの利用開始 ・・・・・・・・・・・・・10

# 1 Teams連携アプリをダウンロード

**事前に**

**Teams連携アプリをご利用いただくには、別途Microsoft Teamsの契約が必要です。**
**本書は、すでにTeamsをご利用いただいている方向けに作成しております。**
**本アプリは、TeamsのWebブラウザ版とTeamsデスクトップアプリに対応しています。**
**モバイル端末からの利用、回線認証、他サービス認証、Active Directory認証には未対応です。**
**※インターネット経由でパソコンからアクセスしてください。**
**また、Teams連携アプリは社内ユーザ専用のアプリケーションです。**

**本マニュアルについて**

**P.4～P.9の手順は、本サービスの「管理者権限」を保有する方及びMicrosoft365の管理者権限を保有する方が実施してください。**

以下の手順でTeams連携アプリ(Zipファイル）をダウンロードしてください。

1．本サービスのWebにログインします。
2．**【ツール】** - **【管理コンソール】**をクリックします。

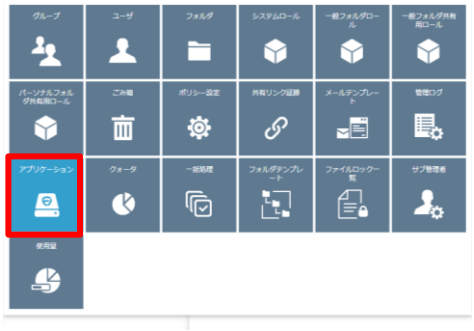



3．**【編集を開始する】**をクリックし、閲覧モードから編集モードへ変更します。

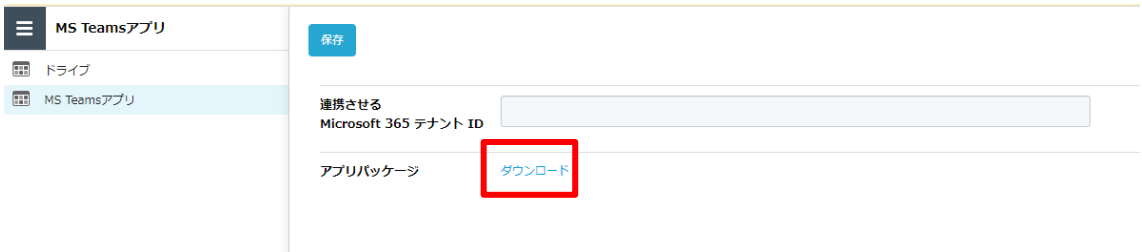


# 1 Teams連携アプリをダウンロード

４．【アプリケーション】を選択します。



５．MS Teamsアプリを選択し、【ダウンロード】を選択します。



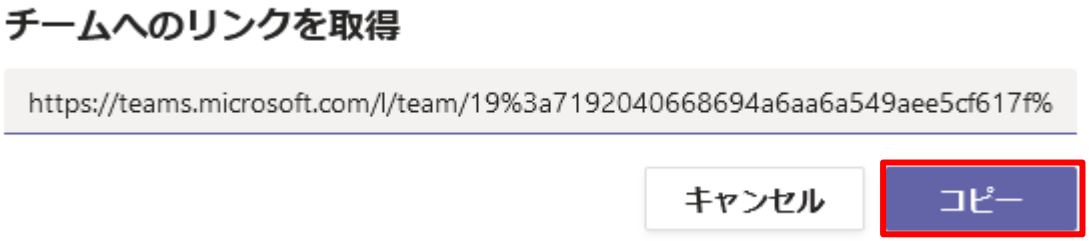

※保存先は、お好きな場所を指定してください。
※Zipファイルを解凍する必要はありません。

# 2 テナントIDの登録

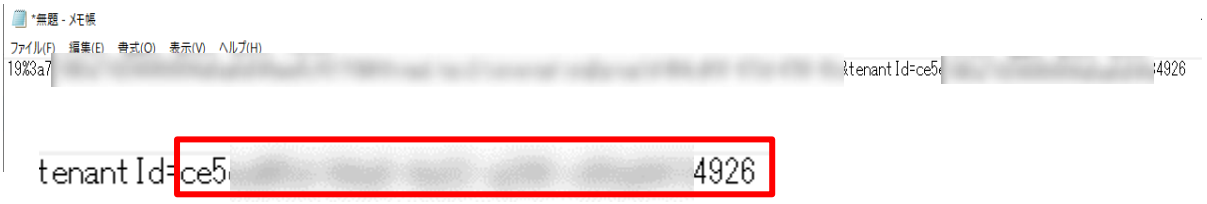
1．Teamsを起動し、任意のチーム横の「...」をクリックし、**【チームのリンクを取得】**をクリックします。




2．リンクが表示されますので、コピーをクリックします



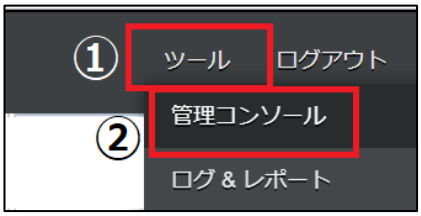

3．メモ帳等のテキストエディタを開き、コピーしたリンクを貼り付けます。
貼り付けたリンクの「tenantId=」より後ろの文字列をコピーします。




※このIDはあくまでイメージです。

# 2 テナントIDの登録

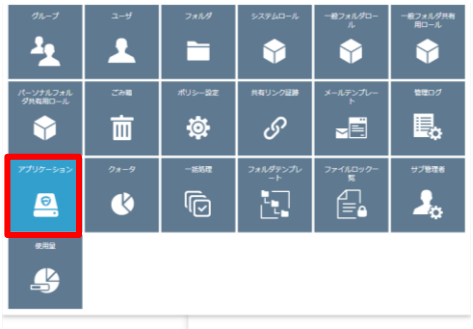
5. 本サービスのWebにログインします。
6. **【ツール】** - **【管理コンソール】**をクリックします。



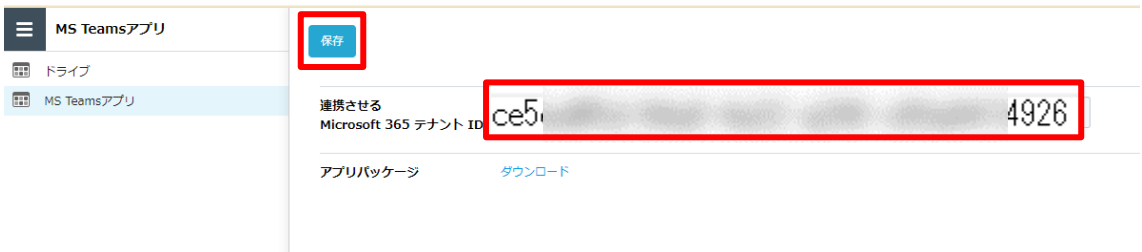

7. **【編集を開始する】**をクリックし、閲覧モードから編集モードへ変更します。




8. 【アプリケーション】を選択します。



9．MS Teamsアプリを選択し、先ほどコピーしたテナントIDを貼り付け【保存】します。



# 3 Teams連携アプリをアップロード

ダウンロードしたTeams連携アプリをお使いのTeamsにアップロードしていただきます。

1. Teamsを起動します。

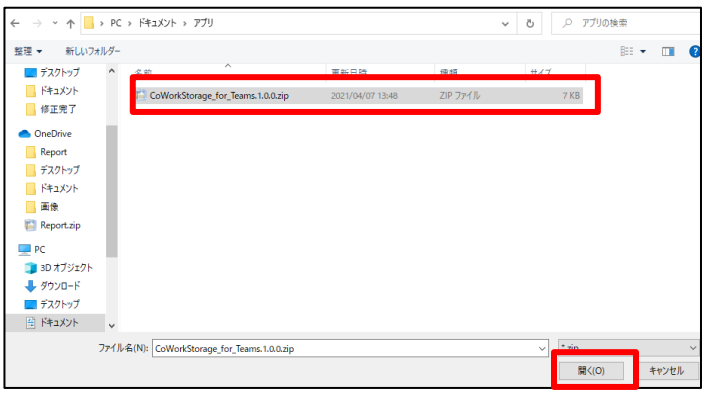
2. 左のタブから**【アプリ】**を選択します。
   アプリから**【カスタムアプリをアップロード】**を選択します。




**ここに注意**

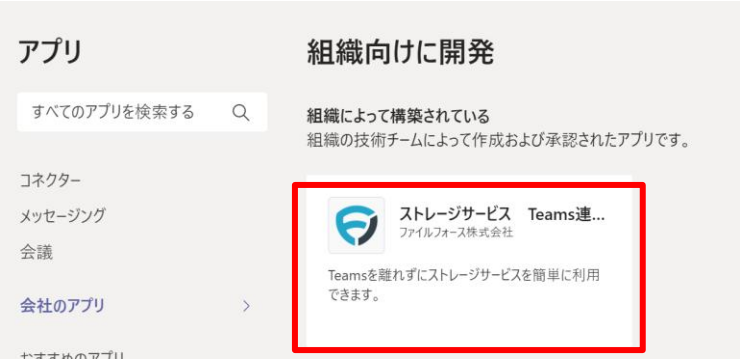
**【カスタムアプリをアップロード】**が表示されない場合は、Teamsの管理者にお問い合わせください。管理者の方は下記URLを参考にカスタムアプリのアクセスを許可してください。
https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/teams-app-permission-policies

3. ファイルを選択する画面が起動するので、取得したTeams連携アプリの
   Zipファイルを選択し、【開く】をクリックしてください。



# 3 Teams連携アプリをアップロード

4. アップロードが完了し、Teamsの【アプリ】から本サービスのTeams連携アプリが表示されていることを確認してください。

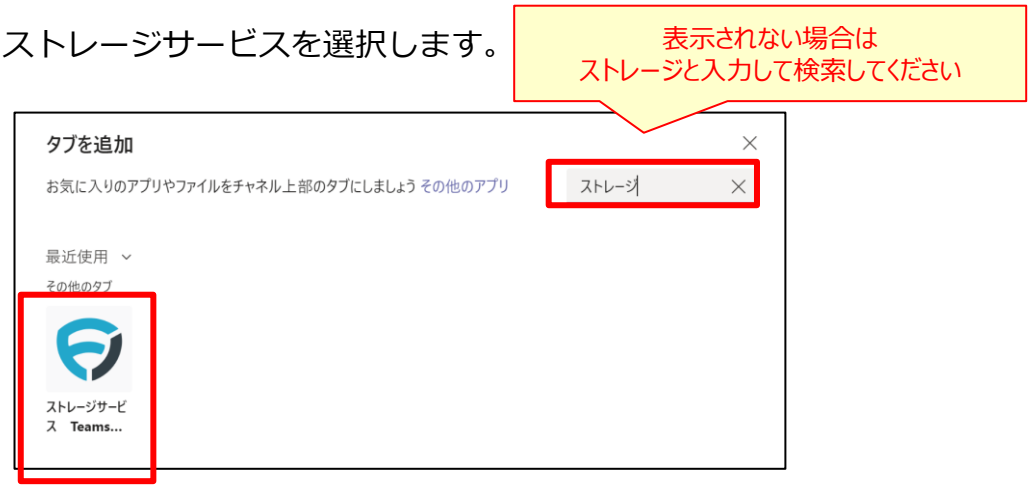


# 4 Teams連携アプリの利用開始

1．Teams連携アプリを追加したいチームもしくはチャットに移動し、タブに追加します。
**※Teams連携アプリを追加したいチームもしくはチャットが複数ある場合は**
**チームもしくはチャットごとに同様に追加する必要があります。**




2．ストレージサービスを選択します。

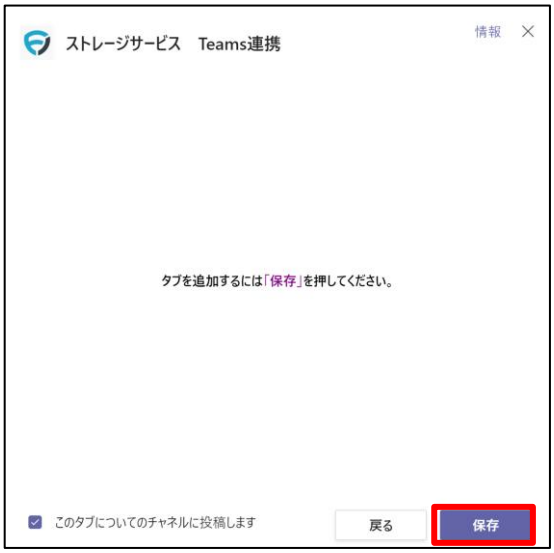



3．**【追加】**をクリックします。



# 4 Teams連携アプリの利用開始

4．**【保存】**をクリックします。




5．**【ログイン】**をクリックします。

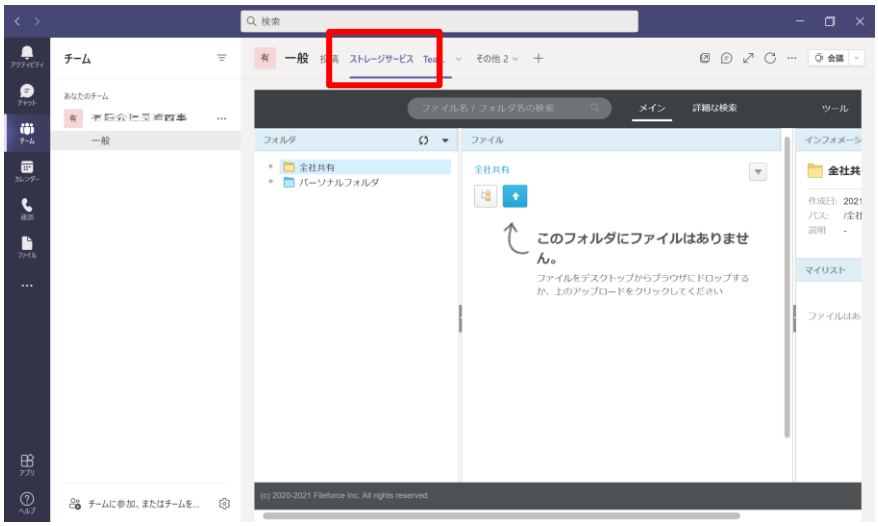



6．ログイン画面が表示されるので、ログインを実施します。



# 4 Teams連携アプリの利用開始

7．ストレージサービスのタブからWebUIが表示されます。




**ここに注意**

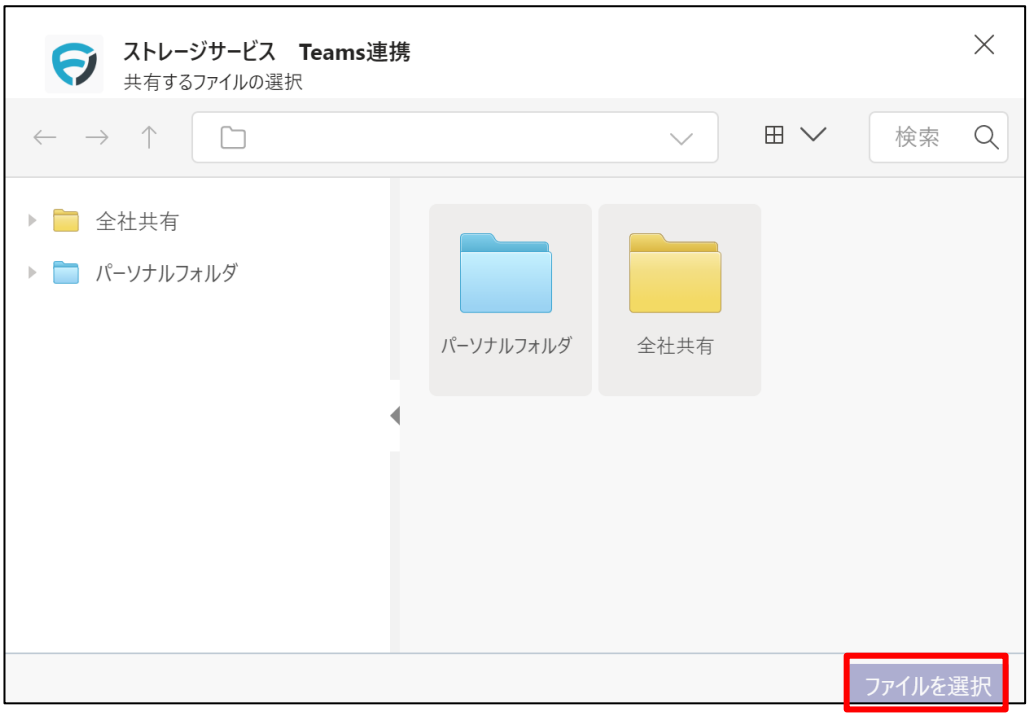
**操作方法は通常のWebUIと同じです。**

8．チームまたはチャット上でファイルを共有する場合は、
メッセージエクステンションからもご利用ください。
ストレージサービスのロゴが表示されていますので、クリックします。



# 4 Teams連携アプリの利用開始

９．ファイルの選択画面が表示されるので、共有するファイルを選択します。




１０．チームもしくはチャット上にファイルを貼り付けることができます。




**【Driveで開く】**：ストレージサービスDrive上で、対象ファイルを起動します。
**【ブラウザで開く】**：ブラウザ上で、対象ファイルを表示します。

# 4 Teams連携アプリの利用開始

**ここに注意**

**投稿されたファイルカード上の【Driveで開く】をクリックした場合、拡張子によっては関連付けられたPCアプリケーションではなくフォルダが開くことがあります。**

**＜関連付けられたPCアプリケーションが開く拡張子＞**
**Office系**
.mdb .accdb .accdt
.xlsx .xltx .xlsm .xltm .xlm .xlsb .xls .xlc .xlw .xlk .xlt
.docx .docm .dotx .dotm .doc .dot
.pptx .pptm .ppsx .potm .potx .ppt .pps .pot
.txt .rtf

**圧縮アーカイブ系**
.zip .rar .7z .tar .gz

**メディア**
.aac .aif .aiff .au .flac .mp3 .ogg .wav .wma .ape .ac3 .m4a
.avi .m2ts .mkv .mov .mp4 .mpeg .mpg .webm .wmv .vob .m4v .ts .m2t .mts .h263 .h264

**グラフィック文書系**
.cdr .ai .pdf .cad .psd

**画像系**
.bmp .gif .jpg .jpeg .png .tif .tiff .tga .jp2 .j2k

**＜フォルダが開く拡張子＞**
**上記以外の拡張子**

**※【Driveで開く】はPCからのみご利用いただけます。ストレージサービスDriveをインストールされていないモバイル端末では動作いたしません。**